

FSA 135

**STIHL**



2 - 23 取扱説明書



## 目次

1	ごあいさつ.....	2
2	はじめに.....	2
3	概要.....	3
4	安全に関する重要事項.....	4
5	刈払機の使用準備.....	11
6	バッテリーの充電、LED.....	11
7	刈払機の組み立て.....	12
8	刈払機の調整.....	14
9	バッテリーの取り外しと取り付け.....	14
10	刈払機のオン/オフ切り替え.....	15
11	刈払機とバッテリーのテスト.....	15
12	刈払機の操作.....	16
13	作業後.....	17
14	運搬.....	17
15	保管.....	18
16	清掃.....	18
17	整備.....	19
18	修理.....	19
19	トラブルシューティング.....	19
20	技術仕様.....	20
21	カッティングアタッチメント、デフレクター、 キャリングシステムの組み合わせ.....	21
22	スペアパーツおよびアクセサリ.....	22
23	廃棄.....	22
24	EC 適合証明書.....	23
25	UKCA 適合宣言.....	23

## 1 ごあいさつ

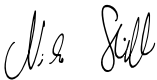
お客様各位

STIHL 製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。弊社では、お客様のご要望を満たす高品質の製品を開発し、製造しております。弊社の製品は、極端な条件下においても高い信頼性が発揮されるよう設計されております。

STIHL 社は上質なサービスでも定評があります。弊社販売店は、お客様にご満足いただける助言や商品説明だけでなく、広範なサービスサポートも提供しております。

STIHL 社は天然資源を持続可能かつ責任ある方法で利用することに尽力しており、この方針を明示しています。本取扱説明書は、製品の長きに渡る耐用年数において、お客様が STIHL 製品を安全かつ環境に優しい方法で使用するのに役立つよう考えられています。

弊社をご愛顧いただきまして有難うございます。今後とも STIHL 製品をご愛用いただきますようお願い申し上げます。



Dr. Nikolas Stihl

**重要！初めて使用する前に取扱説明書をお読みください。取扱説明書は、必要なときに参照できるように安全な場所に保管してください。**

## 2 はじめに

## 2.1 適用文書

現地の安全規制が適用されます。

- ▶ 本取扱説明書の他に以下の文書をお読みいただき、内容を理解し、保管してください：
  - 使用するカッティングアタッチメントの取扱説明書とパッケージ
  - 使用するキャリングシステムの取扱説明書
  - STIHL AR バッテリーの取扱説明書
  - 接続ケーブル付き AP ベルトバッグの取扱説明書
  - STIHL AP バッテリーの安全上の注意事項
  - STIHL AL 101、300、500 充電器の取扱説明書
  - STIHL バッテリーとバッテリー内蔵型製品の安全上の注意事項：www.stihl.com/safety-data-sheets

## 2.2 本書内の警告表示



## 警告

- 重傷または死亡の原因となるおそれのある危険を示しています。
  - ▶ 記載されている対策を講じると、重傷または死亡事故を防ぐことができます。

## 注記

- 物的損害の原因となるおそれのある危険を示しています。
  - ▶ 記載されている対策を講じると、物損事故を防ぐことができます。

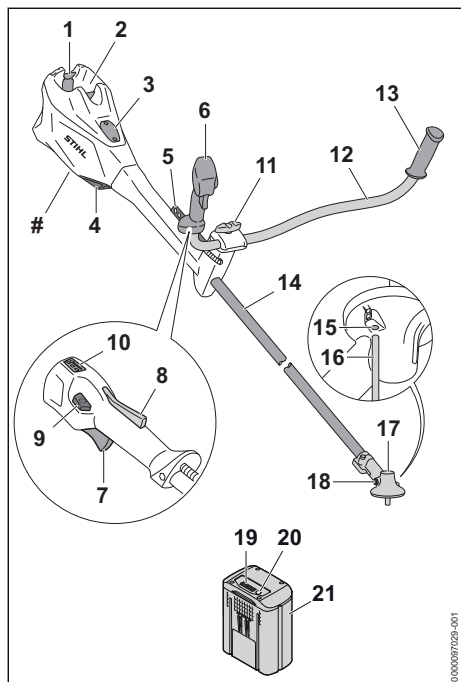
## 2.3 本文中の記号



この記号は、本取扱説明書の章を示します。

## 3 概要

### 3.1 刈払機とバッテリー




- 1 **ロックレバー**  
バッテリーをバッテリーコンパートメント内で固定します。
- 2 **バッテリーコンパートメント**  
バッテリーを収納します。
- 3 **カバー<sup>1</sup>**  
スマートコネクター 2 A 取り付け部。
- 4 **エアフィルター**  
モーターの吸気を濾過します。
- 5 **キャリングストリップ**  
キャリングシステムを引っ掛ける穴あきベルト
- 6 **コントロールハンドル**  
刈払機の操作、保持、制御に使用します。
- 7 **トリガー**  
刈払機のオン/オフを切り替えます。
- 8 **トリガーロックアウト**  
トリガーのロックが解除されます。

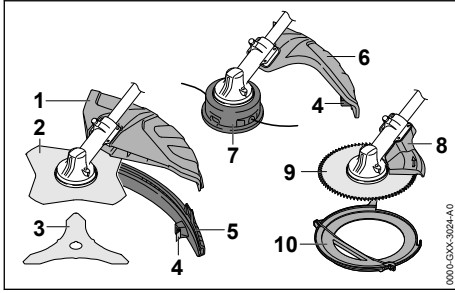
- 9 **ロック解除ボタン**  
刈払機のスイッチをオンにし、出力レベルを選択するために使用します。
- 10 **LED**  
選択された出力レベルを表示します。
- 11 **ウイングスクリュー**  
ハンドルバーをハンドルサポートに固定します。
- 12 **ハンドルバー**  
コントロールハンドルとハンドルをシャフトに接続します。
- 13 **ハンドル**  
刈払機の保持と制御に使用します。
- 14 **シャフト**  
全部品を連結します。
- 15 **ストップピン用開口部**  
ストップピンを挿入するための穴
- 16 **ストップピン**  
カッティングアタッチメント装着時にシャフトが回転するのを防ぎます。
- 17 **ギアハウジング**  
ギアボックスが収められています。
- 18 **スクリュープラグ**  
STIHL ギアグリース注入口の栓。
- 19 **LED**  
バッテリーの充電状態と不具合を表示します。
- 20 **ボタン**  
押すと、バッテリーの LED が点灯/点滅します。
- 21 **バッテリー**  
刈払機に電源を供給します。

### # 機械番号付き銘板

### 3.2 デフレクターとカッティングアタッチメント

図は、デフレクターとカッティングアタッチメントの例を示しています。可能な組み合わせは、本書に記載されています、 21。

<sup>1</sup> モーターハウジングの一部。カバーはスマートコネクター 2 A を取り付けの際にのみ取り外し、後の再取り付けに備えて安全な場所に保管してください。必ずカバーまたはスマートコネクター 2 A を装着して使用してください。



- 1 ユニバーサルデフレクター  
ユーザーを飛散物やカッティングアタッチメントとの接触から守ります。
- 2 草刈ブレード  
芝草や雑草を刈払います。
- 3 ブラシュナイフ  
下草を刈払います。
- 4 ライン制限ブレード  
カッティングラインを適切な長さに切断します。
- 5 スカート  
草刈ヘッドに使用するためにユニバーサルデフレクターを延長します。
- 6 草刈ヘッド用デフレクター  
ユーザーを飛散物や草刈ヘッドとの接触から守ります。
- 7 草刈ヘッド  
草刈ヘッドにはカッティングラインが収められています。
- 8 リミットストップ  
切断作業中にユーザーを飛散する異物やサーキュラソーブレードとの接触から保護し、刈払機を樹木に接触させて支えます。
- 9 サークュラソーブレード  
低木と樹木を切断します。
- 10 運搬用ガード  
金属製カッティングアタッチメントに接触しないようユーザーを保護します。

### 3.3 記号


刈払機、デフレクター、およびバッテリーに表示されている記号の意味：





1 個の LED が赤色で点灯。バッテリーの温度が高過ぎるか、低過ぎます。




4 個の LED が赤色で点滅。バッテリーが故障しています。


 ロック解除ボタンを押して刈払機のスイッチをオンにし、出力レベルを選択します。


 この記号は、ロック解除ボタンを示しています。


 この記号は、カッティングアタッチメントの回転方向を示しています。

max Ø XXX この記号は、カッティングアタッチメントの mm 単位の最大径を示しています。

 この記号は、カッティングアタッチメントの定格回転数を示しています。

 LWA 製品の騒音を比較する目的に使用可能な、指令 2000/14/EC に基づく dB(A) 単位の音響出力レベル保証値。

 この記号の隣に記載されている情報は、バッテリーメーカーの仕様に基づくバッテリーのエネルギー含有量です。使用中に用いることができるエネルギー含有量は、仕様値よりも少なくなります。

 本製品は、家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。

## 4 安全に関する重要事項

### 4.1 警告標示

#### 4.1.1 警告記号

刈払機とバッテリーの警告標示の意味：



安全上の注意事項を順守し、必要な予防措置を講じてください。



製品をお使いになる際は、取扱説明書をよくお読みいただき、ご理解ください。また本書は必ず保管してください。



保護メガネを着用してください。作業中に物が落下する危険が高いときは、ヘルメットを着用してください。



安全靴を着用してください。



保護手袋を着用してください。



キックバックに関する安全上の注意事項を遵守し、必要な予防措置を講じてください。



飛散物に関する安全面での助言に従い、関連する安全策を講じてください。



安全な距離を維持してください。



休憩中や、運搬、保管、整備、修理を行うときは、必ずバッテリーを取り外してください。



高温の面に触れないでください。



バッテリーを熱や火気から保護してください。



バッテリーを液体に浸けないでください。



バッテリーは、規定の温度範囲内で使用してください。

#### 4.1.2 草刈ヘッド用デフレクター

草刈ヘッド用デフレクターに表示されている警告標示とラベルの意味：



このデフレクターは草刈ヘッドに使用してください。



このデフレクターは草刈ブレードには使用しないでください。



このデフレクターはブラシュナイフには使用しないでください。



このデフレクターはシュレッダーブレードには使用しないでください。



このデフレクターはサーキュラソーブレードには使用しないでください。

#### 4.1.3 ユニバーサルデフレクターとスカート

##### ユニバーサルデフレクター

ユニバーサルデフレクター上の警告標示の意味：



このデフレクターはスカートなしに草刈ヘッドに使用しないでください。



このデフレクターは草刈ブレードに使用してください。



このデフレクターはブラシュナイフに使用してください。



このデフレクターはシュレッダーブレードに使用してください。



このデフレクターはサーキュラソーブレードには使用しないでください。

#### スカート

スカート上の警告標示の意味：



草刈ヘッドにはユニバーサルデフレクターをスカートとライン制限ブレードと共に使用してください。

#### 4.2 用途

STIHL FSA 135 刈払機は、以下の目的用に設計されています：

- 草刈ヘッド使用時：芝草の刈払い
- 草刈ブレード使用時：芝草と雑草の刈払い
- ブラシュナイフ使用時：幹の径が 20 mm までの低木の切断
- サーキュラソーブレード使用時：幹の径が 40 mm までの低木や樹木の切断

本刈払機は雨天でも使用することができます。

電源は、STIHL AP バッテリーまたは STIHL AR バッテリーから供給されます。

#### ▲ 警告

- STIHL 社が本刈払機用として明確に承認していないバッテリーは、火災または爆発を引き起こすおそれがあります。重傷や致命傷を負ったり、器物が損壊したりするおそれがあります。
  - ▶ この刈払機には STIHL AP バッテリーまたは STIHL AR バッテリーを使用してください。
- 設計された目的以外で刈払機またはバッテリーを使用すると、重傷または致命傷や物的損害の原因になるおそれがあります。
  - ▶ 刈払機は、本取扱説明書に従って使用してください。
  - ▶ バッテリーは、本取扱説明書または STIHL AR バッテリーの取扱説明書に従って使用してください。

### 4.3 作業者

#### ▲ 警告

- 適切な研修または指導を受けていない使用者は、刈払機とバッテリーの使用に伴う危険の認識や評価ができません。使用者または他の人員が重傷または致命傷を負うおそれがあります。



▶ 製品をお使いになる際は、取扱説明書をよくお読みいただき、ご理解ください。また本書は必ず保管してください。

- ▶ 刈払機またはバッテリーを譲渡する場合：必ず本取扱説明書を一緒に手渡してください。
- ▶ 使用者が以下の必要条件を満たしているか確認してください：
  - 十分な休息をとっている。
  - 使用者は、刈払機とバッテリーを操作するために適切な身体的かつ精神的な状態である必要があります。使用者の身体的、感覚的、または精神的機能が制限されている場合、その使用者は、責任者の監督の下で、または責任者による指導どおりにのみ作業することができます。
  - 使用者は、刈払機とバッテリーの使用に伴う危険を認識し、評価することができます。
  - 法定年齢に達しているか、国の規則や規制に従い、監督下で職業訓練を受けた。
  - 使用者は、初めて刈払機を使用する前に、STIHL サービス店、またはその他の経験豊富な使用者から、指導を受けてください。
  - アルコールまたは薬物の影響を受けていない。
- ▶ ご不明な点があれば：STIHL サービス店にサポートを依頼してください。

### 4.4 衣服と装備

#### ▲ 警告

- 操作中、長髪は刈払機に吸い込まれることがあります。それにより重傷を負うおそれがあります。
  - ▶ 長髪は結び、肩よりも高い位置でまとめてください。
- 作業中は、物体が高速で飛散することがあります。それにより負傷するおそれがあります。



▶ 確実にフィットする保護メガネを着用してください。欧州基準 EN 166 または日本の基準に従って試験され、ラベルが付けられている適切な保護メガネが販売されています。

- ▶ フェイスシールドを着用してください。

- ▶ 丈夫な素材の長ズボンを着用してください。
- 落下物で頭部を負傷するおそれがあります。
  - ▶ 作業中に物が落下する危険が高いときは、ヘルメットを着用してください。
- 作業中は、粉塵が巻き上げられることがあります。巻き上げられた粉塵は気道を傷付け、アレルギー反応を引き起こすおそれがあります。
  - ▶ 粉塵が発生するときは：防塵マスクを着用してください。
- 不適切な衣服は樹木、茂み、または刈払機に絡まる可能性があります。適切な衣服を着用しないと、重傷を負うおそれがあります。
  - ▶ 体にぴったりフィットする衣服を着用してください。
  - ▶ スカーフや装身具は外してください。
- 作業中、回転するカッティングアタッチメントに接触するおそれがあります。それにより重傷を負うおそれがあります。
  - ▶ 頑丈な靴を着用してください。



▶ 金属製カッティングアタッチメントを使用している場合は、爪先に鋼板の入った安全靴を着用してください。

- ▶ 丈夫な素材の長ズボンを着用してください。
- 清掃や整備を行っている間や、カッティングアタッチメントの着脱時には、カッティングアタッチメントやライン制限ブレードに接触する危険があります。それにより負傷するおそれがあります。
  - ▶ 耐切創手袋を着用してください。



- 不適切な履物を履くと、滑るおそれがあります。それにより負傷するおそれがあります。
  - ▶ 靴底が滑らず、頑強な作りの、足が露出しない靴を着用してください。

### 4.5 作業エリアおよび周辺環境

#### 4.5.1 刈払機

#### ▲ 警告

- 見物人、子供、動物は、刈払機または飛散物の危険を認識していません。それにより見物人、子供、動物が重傷を負ったり、物的損害につながったりするおそれがあります。



▶ 見物人、子供、動物は作業エリアから 15 m の範囲内に入らせないでください。

- ▶ 器物から 15 m の間隔を維持してください。
- ▶ 刈払機を無人のまま放置しないでください。

- ▶ 子供が刈払機で遊ばないように注意してください。
- 刈払機の電気部品から火花が発生することがあります。引火や爆発が起きやすい環境下では、火花によって火災や爆発が起きることがあります。重傷や致命傷を負ったり、器物が損壊したりするおそれがあります。
  - ▶ 引火または爆発が起きやすい環境下では、作業しないでください。

#### 4.5.2 バッテリー

### ▲ 警告

- 見物人、子供、動物は、バッテリーの危険の認識や評価ができません。その結果、見物人、子供、動物が重傷を負うおそれがあります。
  - ▶ 作業エリアに見物人、子供、動物を近づけないでください。
  - ▶ バッテリーを無人のまま放置しないでください。
  - ▶ 子供がバッテリーで遊ばないように注意してください。
- バッテリーは、すべての周囲条件に対して保護されているわけではありません。特定の周囲条件にさらされると、バッテリーは発火するか、爆発するおそれがあります。それにより重傷を負ったり、物的損害につながったりするおそれがあります。



- ▶ バッテリーを熱と火気から保護してください。
- ▶ バッテリーを火の中に投げ入れないでください。



- ▶ バッテリーは-10°C から +50°C までの温度下で使用し、保管してください。



- ▶ バッテリーは液体に浸さないでください。

- ▶ バッテリーを金属製の物に近づけないでください。
- ▶ バッテリーに高圧を加えないでください。
- ▶ バッテリーをマイクロ波にさらさないでください。
- ▶ バッテリーを化学物質と塩類から保護してください。

## 4.6 安全に関する条件

### 4.6.1 刈払機

刈払機は、以下の条件が満たされている場合、安全な状態です：

- 刈払機が損傷していない。
- 刈払機が清潔な状態になっている。
- 操作部が正常に作動し、改造されていない。

- 本書内で推奨されているカッティングアタッチメントとデフレクターの組み合わせが装着されている。
- カッティングアタッチメントとデフレクターが適切に装着されている。
- 本刈払機用の STIHL 純正アクセサリが装着されている。
- アクセサリが適切に取り付けられている。

### ▲ 警告

- 安全な状態にない場合、部品が正常に作動しなくなるか、安全装置が作動しなくなるおそれがあります。重傷または致命傷を負うおそれがあります。
  - ▶ 刈払機は必ず損傷のない状態で使用してください。
  - ▶ 刈払機が汚れた場合：清掃してください。
  - ▶ 刈払機は絶対に改造しないでください。例外：本書内で推奨されているカッティングアタッチメントとデフレクターの組み合わせの装着。
  - ▶ 操作部が正常に作動しない場合、刈払機を使用しないでください。
  - ▶ 必ず本刈払機用に設計された STIHL 純正アクセサリを取り付けてください。
  - ▶ カッティングアタッチメントとデフレクターは、本取扱説明書に従って装着してください。
  - ▶ アクセサリは、本取扱説明書またはアクセサリに付属する取扱説明書に従って装着してください。
  - ▶ 刈払機の開口部には絶対に物を差し込まないでください。
  - ▶ 摩耗するか、損傷したラベルは交換してください。
  - ▶ ご不明な点は、STIHL サービス店へお問い合わせください。

### 4.6.2 デフレクター

デフレクターは、以下の条件が満たされている場合、安全な状態です：

- デフレクターが損傷していない。
- ライン制限ブレードとスカートを使用している場合：ライン制限ブレードとスカートが適切に取り付けられている。

### ▲ 警告

- コンポーネントが安全要件を満たしていない場合は、正常に作動しなくなるか、安全装置が作動しなくなるおそれがあります。それにより重傷を負うおそれがあります。
  - ▶ デフレクターは必ず損傷のない状態で使用してください。
  - ▶ ライン制限ブレードとスカートを使用している場合：ライン制限ブレードとスカート

を適切に取り付けて作業を行ってください。

- ▶ ご不明な点があれば：最寄りの STIHL サービス店にご連絡ください。

#### 4.6.3 草刈ヘッド

草刈ヘッドは、以下の条件が満たされている場合、安全な状態です：

- 草刈ヘッドが損傷していない。
- 草刈ヘッドが詰まっていない。
- カuttingラインが適切に取り付けられている。
- 摩耗限界を超えていない。

### ▲ 警告

- 安全な状態にないと、草刈ヘッドの部品や Cuttingラインが外れ、高速で飛散するおそれがあります。それにより重傷を負うことがあります。
  - ▶ 草刈ヘッドは必ず損傷のない状態で使用してください。
  - ▶ 絶対にナイロン製 Cuttingラインを金属製部品で代用しないでください。
  - ▶ 摩耗限界を超えて使用しないでください。
  - ▶ ご不明な点は、STIHL サービス店へお問い合わせください。

#### 4.6.4 金属製 Cuttingアタッチメント

金属製 Cuttingアタッチメントは、以下の条件が満たされている場合、安全な状態です：

- 金属製 Cuttingアタッチメントと取り付け用部品が損傷していない。
- 金属製 Cuttingアタッチメントが曲がっていない。
- 金属製 Cuttingアタッチメントが適切に装着されている。
- 金属製 Cuttingアタッチメントが適切に目立てされている。
- 金属製 Cuttingアタッチメントの刃先にバリがない。
- 摩耗限界を超えていない。
- STIHL 製以外の金属製 Cuttingアタッチメントを使用するときは、STIHL 社が承認した最大の金属製 Cuttingアタッチメントと比較して重量、厚み、直径がそれを上回っている製品、形状が異なっている製品、品質が低い製品は使用しないでください。

### ▲ 警告

- 安全な状態にないと、金属製 Cuttingアタッチメントの部品が外れ、高速で飛散するおそれがあります。それにより重傷を負うことがあります。
  - ▶ 金属製 Cuttingアタッチメントまたは取り付け用部品が損傷した状態では、絶対に作業を行わないでください。

- ▶ 金属製 Cuttingアタッチメントは適切に目立てしてください。
- ▶ 刃先のバリはヤスリで取り除いてください。
- ▶ 金属製 Cuttingアタッチメントのバラン作業は、STIHL サービス店に依頼してください。
- ▶ 摩耗限界を超えて使用しないでください。
- ▶ 金属製 Cuttingアタッチメントは、取扱説明書に記載されたとおりに使用してください。
- ▶ ご不明な点は、STIHL サービス店へお問い合わせください。

#### 4.6.5 バッテリー

バッテリーは、以下の条件が満たされている場合、安全な状態です：

- バッテリーが損傷していない。
- バッテリーが清潔かつ乾燥した状態になっている。
- バッテリーが正常に働き、改造されていない。

### ▲ 警告

- 安全な状態にないときにバッテリーを使用すると、危険です。重傷を負う危険性があります。
  - ▶ 損傷していない、正常に働くバッテリーを使用してください。
  - ▶ 損傷または不具合のあるバッテリーは、充電しないでください。
  - ▶ バッテリーが汚れているか、濡れている場合、清掃し、乾かしてください。
  - ▶ バッテリーは改造しないでください。
  - ▶ バッテリーの開口部には物を差し込まないでください。
  - ▶ バッテリー端子間は絶対に金属製の物体で短絡しないでください。
  - ▶ バッテリーを分解しないでください。
  - ▶ 摩耗したり、損傷したりした警告標示は交換してください。
- 損傷したバッテリーから液が漏れ出すことがあります。液が皮膚に付着したり、目に入ったりすると、炎症を起させることがあります。
  - ▶ バッテリー液に触れないよう注意してください。
  - ▶ 皮膚に付着したときは、患部を大量の水と石鹼ですすいでください。
  - ▶ 目に入ったときは、大量の水で 15 分以上すすぎ、治療を受けてください。
- 損傷や不具合の生じたバッテリーは異臭や煙を発生したり、発火したりすることがあります。それにより重傷または致命傷や物的損害につながるおそれがあります。
  - ▶ バッテリーから異臭や煙が発生したときは、使用を中止し、バッテリーを可燃物から離してください。



- ▶ バッテリーから発火した場合は、消火器または水で消火してください。

## 4.7 作業時

### ▲ 警告

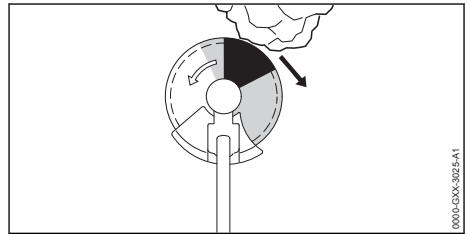
- 特定の条件下では、使用者は作業に集中できなくなる場合があります。それによりつまずいたり、転倒したり、重傷を負ったりするおそれがあります。
  - ▶ 落ち着いて慎重に作業を進めてください。
  - ▶ 明るさと視界が不十分な場合は、刈払機を使用しないでください。
  - ▶ 刈払機は一人で操作してください。
  - ▶ カuttingアタッチメントは地面に近い位置で使用してください。
  - ▶ 障害物に注意してください。
  - ▶ 地面に立ち、バランスを保ちます。
  - ▶ 疲れを感じたときは、休憩をとってください。
- 回転するカuttingアタッチメントで負傷することがあります。それにより重傷を負うおそれがあります。
  - ▶ 回転するカuttingアタッチメントに触れないでください。
  - ▶ カuttingアタッチメントが障害物が挟まった場合は、刈払機の電源を切り、バッテリーを取り外します。必ずその状態にしてから障害物を取り除いてください。
- 操作中に刈払機の動作が変化するか、異常を感じたときは、機械がもはや安全な状態にない可能性があります。それにより重傷を負ったり、物的損害につながったりするおそれがあります。
  - ▶ 作業を中止し、バッテリーを取り外し、STIHL サービス店に連絡してください。
- 作業中、刈払機は振動することがあります。
  - ▶ 手袋を着用してください。



- ▶ 休憩を取ってください。
- ▶ 血行障害の兆候が現れた場合、医師の診察を受けてください。
- 作業中にカuttingアタッチメントが異物と接触すると、異物やその破片が高速で飛散するおそれがあります。負傷したり、器物が損壊したりするおそれがあります。
  - ▶ 作業エリアから異物を取り除いてください。
- 回転する金属製カuttingアタッチメントが硬い物体に接触すると、火花が発生し、カuttingアタッチメントが損傷するおそれがあります。火花によって周囲の可燃物が引火することがあります。重傷や致命傷を負ったり、器物が損壊したりするおそれがあります。

- ▶ 可燃物が周囲にある環境下では刈払機を使用しないでください。
- ▶ カuttingアタッチメントが安全な状態にあるか確認してください。
- トリガーを放しても、カuttingアタッチメントはしばらく回転し続ける点に注意してください。それにより重傷を負うことがあります。
  - ▶ カuttingアタッチメントの回転が完全に止まるまで待ってください。
- 緊急時は使用者がパニックに陥り、キャリングシステムを背中から降ろさないことがあります。それにより重傷を負うおそれがあります。
  - ▶ キャリングシステムの降ろし方を練習してください。

## 4.8 反発力



キックバックは、以下の理由で生じることがあります：

- 回転する金属製カuttingアタッチメントの影付きの範囲または黒の範囲が硬い物体に接触し、急ブレーキが掛かった。
- 回転する金属製カuttingアタッチメントが切り口内に挟まった。

キックバックの危険は、黒の範囲で最大になります。

### ▲ 警告

- 上記の状況が生じると、カuttingアタッチメントは突然減速するか、回転が停止し、右側またはユーザの方向（黒の矢印方向）に飛ばされるおそれがあります。ユーザは刈払機の制御を失うことがあります。その結果、重傷または致命傷を負うおそれがあります。
  - ▶ 刈払機を両手で確実に保持してください。
  - ▶ 本取扱説明書に記載されている推奨作業方法に従ってください。
  - ▶ 黒の範囲を使用して切断しないでください。
  - ▶ 本書内で推奨されているカuttingアタッチメント、デフレクター、キャリングシステムの組み合わせを使用してください。
  - ▶ 金属製カuttingアタッチメントは適切に目立てしてください。

- ▶ 常にモーターを最高速で作動させて切断してください。

## 4.9 運搬

### 4.9.1 刈払機

#### ▲ 警告

- ギアハウジングは作業中に高温になることがあります。火傷を負う危険性があります。
  - ▶ 高温のギアハウジングには触れないでください。



- 刈払機は運搬中に倒れたり、ずれたりするおそれがあります。負傷したり、器物が損壊したりするおそれがあります。



- ▶ バッテリーを取り外してください。

- ▶ 金属製カッティングアタッチメントが装着されている場合は、運搬用ガードを取り付けてください。
- ▶ 転倒したり、ずれたりしないよう、固定ストラップ、ベルトまたはネットで刈払機を固定します。

### 4.9.2 バッテリー

#### ▲ 警告

- バッテリーは、すべての周囲条件に対して保護されているわけではありません。特定の周囲条件にさらされると、バッテリーは損傷し、器物損壊が生じるおそれがあります。
  - ▶ 損傷したバッテリーは絶対に運搬しないでください。
  - ▶ バッテリーは、非導電性のパッケージを使用して保管してください。
- バッテリーは運搬中に倒れたり、ずれたりするおそれがあります。その結果、負傷したり、器物が損壊したりするおそれがあります。
  - ▶ バッテリーは、内部で固定可能なパッケージを使用して輸送してください。
  - ▶ 移動しないようにパッケージを固定してください。

## 4.10 保管

### 4.10.1 刈払機

#### ▲ 警告

- 子供は刈払機の危険を認識/認知できず、重傷を負うおそれがあります。
  - ▶ バッテリーを取り外してください。



- ▶ 金属製カッティングアタッチメントが装着されている場合は、運搬用ガードを取り付けてください。
- ▶ 刈払機は子供の手の届かないところに保管してください。
- 湿気によって刈払機の電気接点や金属製部品が腐食することがあります。それにより刈払機が損傷することがあります。
  - ▶ バッテリーを取り外してください。



- ▶ 刈払機は、清潔な乾いた状態で保管してください。

### 4.10.2 バッテリー

#### ▲ 警告

- 子どもはバッテリーの危険を認識/認知できず、重傷を負うおそれがあります。
  - ▶ バッテリーは子どもの手の届かないところに保管してください。
- バッテリーは、すべての周囲条件に対して保護されているわけではありません。バッテリーは、特定の周囲条件にさらされると破損するおそれがあります。
  - ▶ バッテリーは、清潔な乾いた状態で保管してください。
  - ▶ バッテリーは、閉鎖空間内で保管してください。
  - ▶ バッテリーは、刈払機と充電器とは別に保管してください。
  - ▶ バッテリーは、非導電性のパッケージを使用して保管してください。
  - ▶ バッテリーは、-10°C から +50°C までの温度下で使用し、保管してください。

## 4.11 清掃、整備、修理

#### ▲ 警告

- クリーニング、メンテナンス、または修理作業中にバッテリーを所定の位置に置いたままにすると、ブラシカッターが意図せず起動する場合があります。それにより重傷を負ったり、物的損害につながったりするおそれがあります。



- ▶ バッテリーを取り外してください。

- ギアハウジングは作業中に高温になることがあります。火傷を負う危険性があります。
  - ▶ 高温のギアハウジングには触れないでください。



- 刺激の強い洗浄剤、高圧洗浄機、または尖った物体は、刈払機、デフレクター、カッティングアタッチメント、バッテリーを損傷させるおそれがあります。刈払機、デフレクター、カッティングアタッチメント、またはバッテリーを適切に清掃しないと、部品が正常に作動しなくなるか、安全装置が作動しなくなるおそれがあります。それにより重傷を負うことがあります。
  - ▶ 刈払機、デフレクター、カッティングアタッチメント、バッテリーは、本取扱説明書に従って清掃してください。
- 刈払機、デフレクター、カッティングアタッチメント、またはバッテリーを適切に整備/修理しないと、部品が正常に作動しなくなるか、安全装置が作動しなくなるおそれがあります。重傷または致命傷を負うおそれがあります。
  - ▶ 刈払機、デフレクター、バッテリーの整備または修理を試みないでください。
  - ▶ 刈払機、デフレクター、またはバッテリーに整備や修理が必要になったときは、STIHL サービス店にお問い合わせください。
  - ▶ カッティングアタッチメントは、同梱されている取扱説明書またはパッケージに記載されている指示に従って整備してください。
- カッティングアタッチメントの清掃または整備中に、鋭利な刃先でケガをする場合があります。それにより負傷するおそれがあります。
  - ▶ 耐切削手袋を着用してください。



## 5 刈払機の使用準備

### 5.1 刈払機の使用準備

次の手順に従ってから作業を開始してください。

- ▶ 以下の部品が安全な状態になっているか確認します。
  - 刈払機、**図** 4.6.1。
  - デフレクター、**図** 4.6.2。
  - 草刈ヘッドまたは金属製カッティングアタッチメント **図** 4.6.3 または **図** 4.6.4。
  - バッテリー、**図** 4.6.5。
- ▶ バッテリーを点検します、**図** 11.2。
- ▶ STIHL AL 101、300、500 充電器の取扱説明書に従ってバッテリーを完全に充電します。
- ▶ 刈払機を清掃します、**図** 16.1。
- ▶ バイクハンドルを取り付けます。**図** 7.1
- ▶ カッティングアタッチメント、デフレクター、キャリングシステムの組み合わせを選択します、**図** 21。
- ▶ デフレクターを取り付けます、**図** 7.2.1。

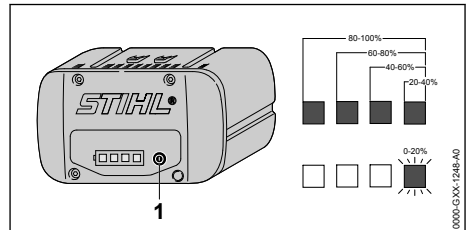
- ▶ ユニバーサルデフレクターを草刈ヘッドと共に使用している場合は、スカートとライン制限ブレードを取り付けます、**図** 7.3.1。
- ▶ 草刈ヘッドまたは金属製カッティングアタッチメントを取り付けます。**図** 7.4.1 または **図** 7.5.1。
- ▶ キャリングシステムを取り付け、調整します、**図** 8.1。
- ▶ バイクハンドルを調整します。**図** 8.2
- ▶ 刈払機のバランスを取ります。**図** 8.3。
- ▶ 操作部を点検します、**図** 11.1。
- ▶ 上記の作業を実施できない場合は、刈払機を使用しないでください。STIHL サービス店にお問い合わせください。

## 6 バッテリーの充電、LED

### 6.1 バッテリーの充電

- 充電時間は、バッテリーの温度、周囲温度などの複数の要因によって変化します。実際の充電時間は、規定の充電時間とは異なる場合があります。規定の充電所要時間については、右記を参照してください：[www.stihl.com/charging-times](http://www.stihl.com/charging-times)
- ▶ STIHL AL 101、300、500 充電器の取扱説明書に従ってバッテリーを完全に充電します。

### 6.2 充電状態の表示



- ▶ ボタン (1) を押します。LED(5) が約 5 秒間緑色で点灯し、充電状態が表示されます。
- ▶ 右側の LED が緑色で点滅した場合：バッテリーを充電してください。

### 6.3 バッテリーの LED

LED は、充電状態または故障を表示します。LED は、緑色または赤色で点灯/点滅します。

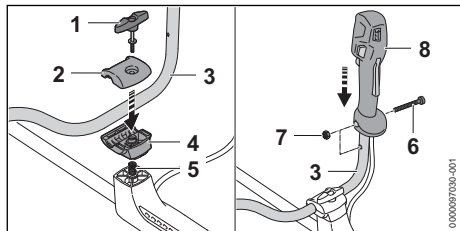
LED が緑色で点灯または点滅しているときは、充電状態が表示されています。

- ▶ LED が赤色で点灯または点滅：トラブルシューティング、**図** 19
- 刈払機またはバッテリーが故障しています。

## 7 刈払機の組み立て

### 7.1 バイクハンドルの取り付け

▶ 刈払機の電源を切り、バッテリーを取り外します。



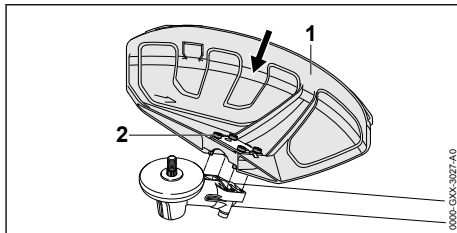
- ▶ ウイングスクリュー (1) を取り外します。
- ▶ クランプモールディング (2 と 4) を取り外します。
- ▶ ハンドルバー (3) を下部クランプモールディング (4) に載せます。
- ▶ 上部クランプモールディング (2) を取り付けます。
- ▶ スプリング (5) を下部クランプモールディング (4) に押し込みます。
- ▶ クランプモールディング (2 と 4) をシャフトに載せ、ウイングスクリュー (1) を挿入します。
- ▶ ハンドルバー (3) を上方にまわします。
- ▶ ウイングスクリュー (1) をしっかりと締め付けます。
- ▶ スクリュー口 (6) を取り外します。
- ▶ コントロールハンドル (7) をハンドルバー (3) に位置決めします。トリガーをギアハウジングの方向に向け、コントロールハンドルの穴とハンドルバーの穴を揃えてください。
- ▶ ナット (7) を取り付けます。
- ▶ スクリュー (6) を差し込み、しっかりと締め付けます。

バイクハンドルはシャフト上に残しておくことができます。

### 7.2 デフレクターの取り付けと取り外し

#### 7.2.1 ガードの取り付け

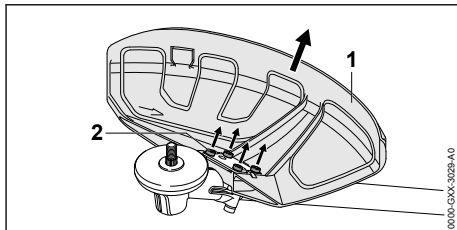
▶ 刈払機の電源を切り、バッテリーを取り外します。



- ▶ デフレクター (1) をギアハウジング上のガイドにリミットストップの位置まで押し込みます。
- ▶ スクリュー (2) を挿入し、しっかりと締め付けます。

#### 7.2.2 デフレクターの取り外し

▶ 刈払機の電源を切り、バッテリーを取り外します。

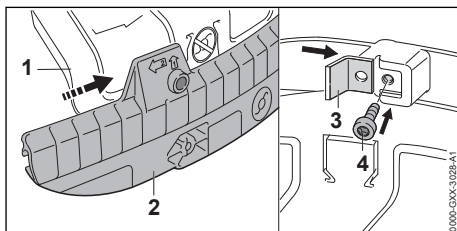


- ▶ スクリュー (2) を取り外します。
- ▶ デフレクター (1) を引き外します。

### 7.3 スカートの取り付けと取り外し

#### 7.3.1 スカートの取り付け

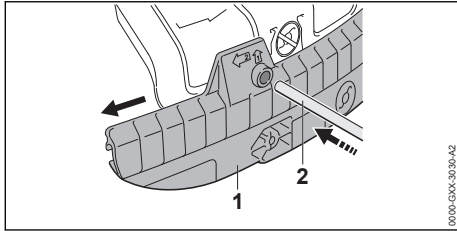
▶ 刈払機の電源を切り、バッテリーを取り外します。



- ▶ スカート (2) のガイドスロットをスライドさせてユニバーサルデフレクター (1) に取り付けます - 所定の位置にはめてください。
- ▶ ライン制限ブレード (3) をスカート (2) のスロットに押し込みます。
- ▶ スクリュー (4) を差し込み、しっかりと締め付けます。

#### 7.3.2 スカートの取り外し

▶ 刈払機の電源を切り、バッテリーを取り外します。



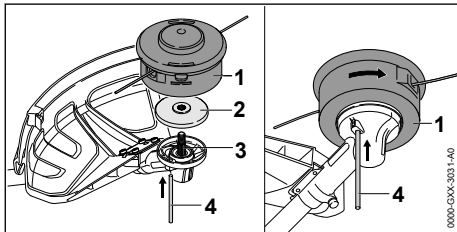
- ▶ ストップピン (2) をスカート (1) の穴に差し込みます。
- ▶ ストップピン (2) を使用してアウカート (1) を取り外します。

ライン制限ブレード (1) はスカートに残しておくことができます。

## 7.4 草刈ヘッドの取り付けと取り外し

### 7.4.1 草刈ヘッドの取り付け

- ▶ 刈払機の電源を切り、バッテリーを取り外します。



- ▶ 小径側を表に向けてスラストプレート (2) をシャフト (3) に通します。
- ▶ 草刈ヘッド (1) をシャフト (3) に取り付け、手で反時計回りにまわします。
- ▶ ストップピン (4) を穴のリミットストップの位置まで差し込み、押したまま保持します。
- ▶ 草刈ヘッド (1) を反時計回りにまわし、ストップピン (4) を所定の位置にはめ込みます。これでシャフト (3) が固定されます。
- ▶ 草刈ヘッド (1) を手でしっかりと締め付けます。
- ▶ ストップピン (4) を取り外します。

### 7.4.2 草刈ヘッドの取り外し

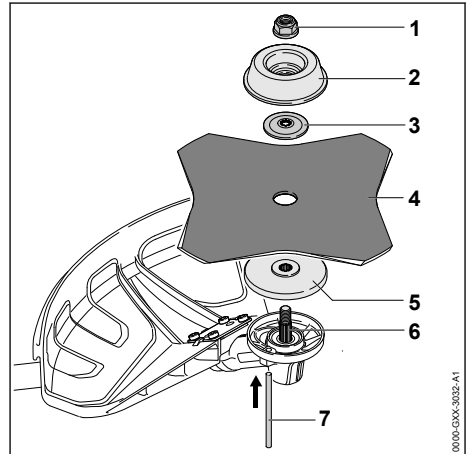
- ▶ 刈払機の電源を切り、バッテリーを取り外します。
- ▶ ストップピンを穴のリミットストップの位置まで差し込み、押したまま保持します。
- ▶ 草刈ヘッドを回転させ、ストップピンを所定の位置にはめ込みます。これでシャフトが固定されます。
- ▶ 草刈ヘッドを時計回りにまわして外します。
- ▶ スラストプレートを取り外します。

- ▶ ストップピンを取り外します。

## 7.5 金属製カッティングアタッチメントの取り付けと取り外し

### 7.5.1 金属製カッティングアタッチメントの取り付け

- ▶ 刈払機の電源を切り、バッテリーを取り外します。



- ▶ 小径側を表に向けてスラストプレート (5) をシャフト (6) に通します。
- ▶ 金属製カッティングアタッチメント (4) をスラストプレート (5) に載せます。サーキュラソーブレードまたは刃先が 4 枚を超える草刈ブレードを取り付けている場合は、刃先をデフレクターの矢印と同じ方向に向けてください。
- ▶ せり上がった側を表に向けてスラストワッシャー (3) を金属製カッティングアタッチメント (4) に取り付けます。
- ▶ 閉じている側を表に向けてライダープレート (2) をスラストワッシャー (3) に取り付けます。
- ▶ ストップピン (7) を穴のリミットストップの位置まで差し込み、押したまま保持します。
- ▶ 金属製カッティングアタッチメント (4) を反時計回りにまわし、ストップピン (7) を所定の位置にはめ込みます。これでシャフト (6) が固定されます。
- ▶ ナット (1) を取り付け、反時計回りに確実に締め付けます。
- ▶ ストップピン (7) を取り外します。

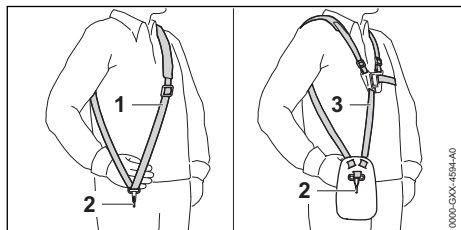
### 7.5.2 金属製カッティングアタッチメントの取り外し

- ▶ 刈払機の電源を切り、バッテリーを取り外します。
- ▶ ストップピンを穴のリミットストップの位置まで差し込み、押したまま保持します。


- ▶ 金属製カッティングアタッチメントを時計回りにまわし、ストップピンを所定の位置にはめ込みます。  
これでシャフトが固定されます。
- ▶ 固定ナットを時計回りにまわして取り外します。
- ▶ ライダープレート、スラストワッシャー、金属製カッティングアタッチメント、スラストプレートを取り外します。
- ▶ ストップピンを取り外します。

## 8 刈払機の調整

### 8.1 キャリングシステムの装着と調整

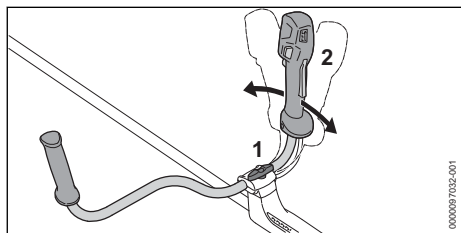


- ▶ 肩掛けベルト (1) またはフルハーネス (3) を着用します。
- ▶ カラбина (2) が右腰から手幅分下がった位置に来るように肩掛けベルト (1) またはフルハーネス (3) の長さを調整します。

承認されている他のキャリングシステムは、本書に記載されています、 21。

### 8.2 バイクハンドルの調整

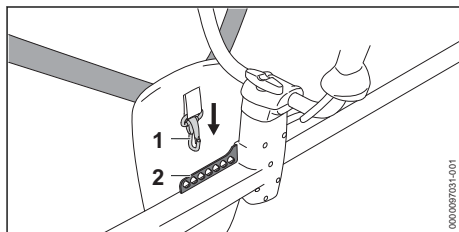
- バイクハンドルは、使用者の身長や手の長さに合わせてさまざまな位置に設定できます。
- ▶ 刈払機の電源を切り、バッテリーを取り外します。
  - ▶ 刈払機をキャリングストリップからキャリングシステムのカラбинаに引っ掛けます。



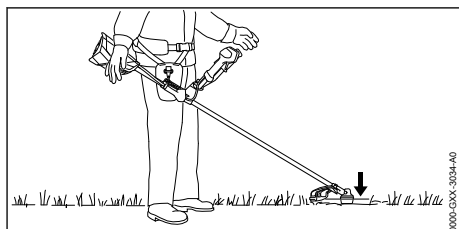
- ▶ ウイングスクリュー (1) を緩めます。
- ▶ バイクハンドル (2) を回転させ、作業がしやすい位置に合わせます。
- ▶ ウイングスクリュー (1) をしっかりと締め付けます。

### 8.3 刈払機のバランスの取り方

- ▶ 刈払機の電源を切り、バッテリーを取り外します。



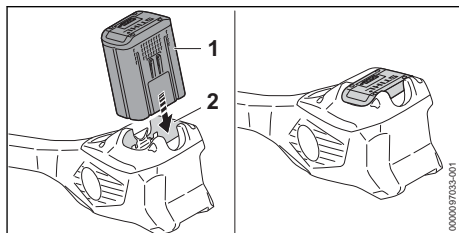
- ▶ キャリングストリップ (2) をカラбина (1) に引っ掛けます。



- ▶ 刈払機から手を離し、バランス状態をチェックします - 適正ならば、カッティングアタッチメントは地面と軽く接触します。
- ▶ 刈払機をバランスさせることができない場合は、キャリングストリップ (2) 上のカラбина (1) の位置を変更し、バランスを再点検します。

## 9 バッテリーの取り外しと取り付け

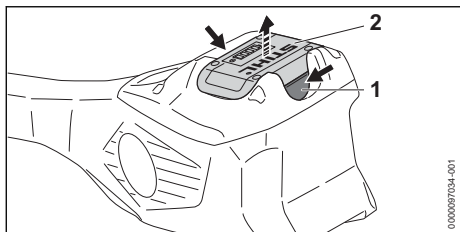
### 9.1 バッテリーの挿入



- ▶ バッテリー (1) をリミットストップの位置までバッテリーコンパートメント (2) に差し込みます。  
カチッという音がしてバッテリー (1) が定位置にはまり、ロックされます。

### 9.2 バッテリーの取り外し

- ▶ 刈払機を平坦な面に置きます。

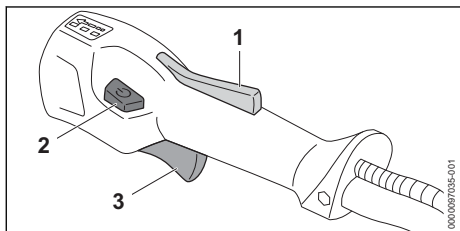


- ▶ 両方のロッキングレバー (1) を押します。ロックが解除され、バッテリー (2) の取り外しが可能になります。

## 10 刈払機のオン/オフ切り替え

### 10.1 刈払機の電源を入れる

- ▶ 右手でコントロールハンドルを握り、刈払機を確実に保持します。コントロールハンドルに親指をかけてください。
- ▶ 左手で左ハンドルを握り、刈払機を保持します。ハンドルに親指をかけてください。



- ▶ トリガーロックアウト (1) を指で押したままにします。
- ▶ ロック解除ボタン (2) を押します。LED が点灯し、最後に使用した出力レベルが表示されます。
- ▶ トリガー (3) を人差し指で握り、そのまま保持します。刈払機が加速し、カッティングアタッチメントが回転します。

トリガー (3) をさらに握ると、カッティングアタッチメントの回転数が上がります。

刈払機は、まずロック解除ボタン (2) を押し、5秒以内 (LED が点滅している間) にトリガーロックアウト (1) を押すことでもオンにすることができます。トリガー (3) のロックが解除され、刈払機の使用準備が整います。

出力レベル 3 では、刈払機は使用されているカッティングアタッチメントを検知し、自動的に最大回転数を設定します。

電源をオンにしてからトリガー (3) とトリガーロックアウト (1) を放すと、LED が 5 秒間点滅しま

す。LED の点滅中は、ロック解除ボタン (2) を操作する必要なしに刈払機の電源を再びオンにすることができません。

### 10.2 電源を切る

- ▶ トリガーとトリガーロックアウトを同時に放します。
- ▶ カッティングアタッチメントが完全に停止するまで待ちます。
- ▶ カッティングアタッチメントが回転し続ける場合：バッテリーを取り外し、STIHL サービス店に連絡してください。刈払機が故障しています。

## 11 刈払機とバッテリーのテスト

### 11.1 操作部の点検

#### トリガーロックアウトとトリガー

- ▶ バッテリーを取り外します。
- ▶ トリガーロックアウトを押さずにトリガーを握ってみます。
- ▶ トリガーを握ることができる場合：刈払機を使用しないでください。STIHL サービス店にお問い合わせください。
- ▶ トリガーロックアウトが故障しています。
- ▶ トリガーロックアウトを押し、そのまま保持します。
- ▶ トリガーを握り、放します。
- ▶ トリガーまたはトリガーロックアウトが円滑に動かないが、アイドル位置に戻らない場合：刈払機を使用しないでください。STIHL サービス店にサポートを依頼してください。トリガーまたはトリガーロックアウトが故障しています。

#### 刈払機の電源を入れる

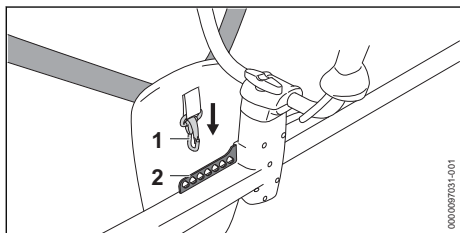
- ▶ バッテリーを挿入します。
- ▶ トリガーロックアウトを押し、そのまま保持します。
- ▶ ロック解除ボタンを押します。
- ▶ トリガーを握ります。カッティングアタッチメントが回転します。
- ▶ バッテリーの 3 個の LED が赤色に点滅した場合、バッテリーを取り外し、STIHL サービス店にサポートを依頼してください。刈払機が故障しています。
- ▶ トリガーを放します。カッティングアタッチメントがしばらく回転して停止します。
- ▶ カッティングアタッチメントが回転し続ける場合：バッテリーを取り外し、STIHL サービス店にお問い合わせください。刈払機が故障しています。

## 11.2 バッテリーのテスト

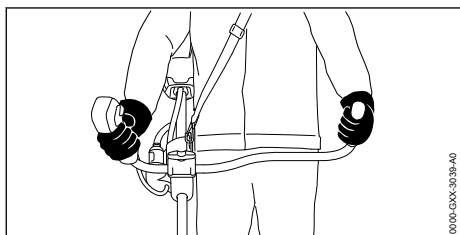
- ▶ バッテリーのボタンを押します。  
LED が点灯または点滅します。
- ▶ LED が点灯または点滅しない場合: バッテリーを使用しないでください。STIHL サービス店に連絡してください。  
バッテリーが故障しています。

## 12 刈払機の操作

### 12.1 刈払機の保持と操作



- ▶ キャリングストリップ (2) をカラビナ (1) に引っ掛けます。

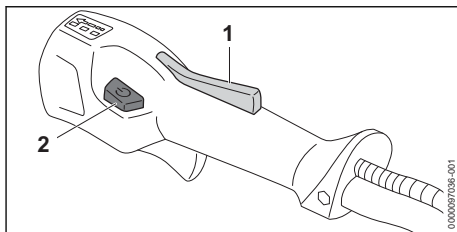


- ▶ 右手でコントロールハンドルを握り、刈払機を確実に保持します。コントロールハンドルに親指をかけてください。
- ▶ 左手で左ハンドルを握り、刈払機を保持します。ハンドルに親指をかけてください。

### 12.2 出力レベルの設定

3段階の出力レベルから用途に応じたレベルに設定することができます。選択された出力レベルは LED で表示されます。出力レベルを上げると、カッティングアタッチメントの作動速度が増します。

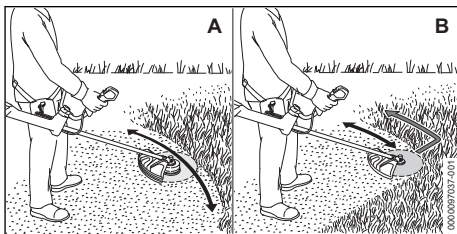
選択した出力レベルは、バッテリーの駆動時間に影響を及ぼします。出力レベルを落とすと、駆動時間は長くなります。



- ▶ トリガーロックアウト (1) を押し、そのまま保持します。
- ▶ ロック解除ボタン (2) を押します。  
LED が点灯し、選択されている出力レベルが表示されます。
- ▶ ロック解除ボタン (2) を押します。  
この操作で次の出力レベルが選択されます。3番目の出力レベルに達した後は、最初の出力レベルに戻ります。
- ▶ ロック解除ボタン (2) を必要な回数だけ押し、状況に適した出力レベルに設定します。
- ▶ サーキュラソーブレードを使用している場合は、出力レベル 3 を選択してください。

### 12.3 刈払い

刈払い高さは、地面からカッティングアタッチメントまでの距離によって決まります。



#### 草刈ヘッドを使用した刈払い (A)

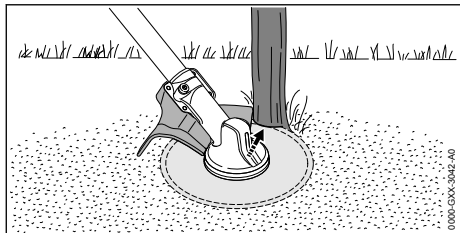
- ▶ 刈払機を左右に弧を描くように動かします。
- ▶ 制御しながらゆっくりと前進します。

#### 草刈ブレードまたはブラッシュナイフを使用した刈払い (B)

- ▶ 金属製カッティングアタッチメントの左側で刈払います。
- ▶ 制御しながらゆっくりと前進します。



## 12.4 サークュラーソーブレード使用時

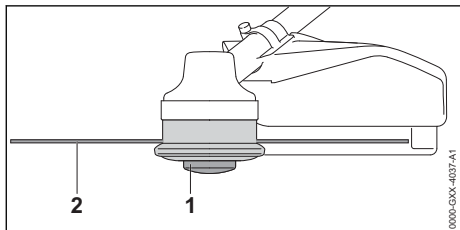


- ▶ デフレクターの左側を幹に当てます。
- ▶ 幹を最高速で切断します。
- ▶ 伐倒する樹木から最低でも 2 本分の安全距離を確保してください。

## 12.5 ナイロンラインの送り出し調整

### 12.5.1 AutoCut(オートカット)草刈ヘッドのライン送り出し

- ▶ 回転する草刈ヘッドで地面を軽くたたきます。ナイロンラインの未使用部分が約 30 mm 送り出されます。カッピングラインは、デフレクター内側のライン制限ブレードで自動的に適切な長さに切り揃えられます。



自動送り出し機能は、カッピングラインが 25 mm よりも短いときは作動しません。

- ▶ 刈払機の電源を切り、バッテリーを取り外します。
- ▶ 草刈ヘッドのスパール (1) を押したまま保持します。
- ▶ カッピングライン (2) を手で引き出します。
- ▶ 必要な長さのカッピングライン (2) を引き出せない場合：スパール (1) またはカッピングライン (2) を交換してください。スパールが空になっています。

### 12.5.2 スーパーカット草刈ヘッドのライン送り出し

カッピングラインは自動的に送り出されます。カッピングラインは、デフレクター内側のライン制限ブレードで自動的に適切な長さに切り揃えられます。

自動送り出し機能は、カッピングラインが 40 mm よりも短いときは作動しません。

- ▶ 刈払機の電源を切り、バッテリーを取り外します。
- ▶ カッピングラインを手で引き出します。
- ▶ 必要な長さのカッピングラインを引き出せない場合は、カッピングラインを交換してください。スパールが空になっています。

## 13 作業後

### 13.1 作業終了時

- ▶ 刈払機の電源を切り、バッテリーを取り外します。
- ▶ 刈払機が濡れている場合は、刈払機を乾かします。
- ▶ バッテリーが濡れている場合、バッテリーを乾かします。
- ▶ 刈払機を清掃します。
- ▶ デフレクターを掃除します。
- ▶ カッピングアタッチメントを掃除します。
- ▶ バッテリーを掃除します。
- ▶ 金属製カッピングアタッチメントが装着されている場合、適合する運搬用ガードを取り付けてください。

## 14 運搬

### 14.1 刈払機の運搬

- ▶ 刈払機の電源を切り、バッテリーを取り外します。
- ▶ 金属製カッピングアタッチメントが装着されている場合、適合する運搬用ガードを取り付けてください。

### 刈払機の運搬

- ▶ 刈払機はシャフトで適切にバランスを取り、カッピングアタッチメントを後ろに向け、片手で運搬してください。

### 刈払機の車両輸送

- ▶ 倒れたり、ずれたりしないよう刈払機を固定してください。

### 14.2 バッテリーの運搬

- ▶ 刈払機のスイッチをオフにして、バッテリーを外します。
- ▶ バッテリーが安全な状態にあることを確認してください。
- ▶ バッテリーを梱包するときには以下の点を守ってください：
  - 必ず非導電性の梱包を使用する。
  - パッケージ内部でバッテリーが移動しないよう配慮する。
- ▶ 移動しないようにパッケージを固定してください。

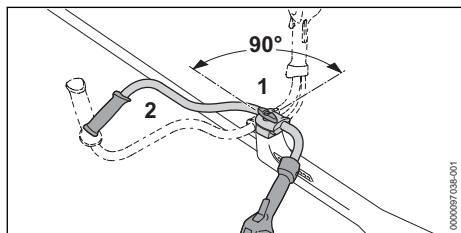
バッテリーには危険物の輸送要件が適用されません。本バッテリーは UN 3480 (リチウムイオンバッテリー) として分類されており、国連試験基準マニュアル、パート III、サブセクション 38.3 に従って試験済みです。

輸送時の規制については、右記を参照してください：[www.stihl.com/safety-data-sheets](http://www.stihl.com/safety-data-sheets)

## 15 保管

### 15.1 刈払機の保管

- ▶ 刈払機の電源を切り、バッテリーを取り外します。
- ▶ 金属製カッティングアタッチメントが装着されている場合は、運搬用ガードを取り付けてください。



- ▶ ウィングスクリュー (1) を緩め、ハンドルバー (2) が回転する状態にします。
- ▶ ハンドルバー (2) を時計回りに 90° 回転させ、下ろします。
- ▶ ウィングスクリュー (1) を確実に締め付けます。
- ▶ 刈払機の保管時は、以下の点を遵守してください：
  - 刈払機は子供の手の届かないところに保管する。
  - 刈払機を清潔で乾燥した状態にする。
- ▶ 刈払機を 30 日以上保管する場合は、カッティングアタッチメントを取り外してください。

### 15.2 バッテリーの保管

STIHL 社では、40% ~ 60% の充電状態 (2 個の LED が緑色で点灯する状態) でバッテリーを保管することをお勧めしています。

- ▶ バッテリーを保管するときは、以下の点を遵守してください：
  - バッテリーを子どもの手の届かない場所に保管する。
  - バッテリーを清潔かつ乾燥した状態にする。
  - バッテリーを閉鎖空間内に収める。
  - バッテリーを刈払機と充電器とは別に保管する。
  - バッテリーを非導電性のパッケージに入れる。

- バッテリーを -10°C から +50°C までの温度範囲で保管する。

## 16 清掃

### 16.1 刈払機の清掃

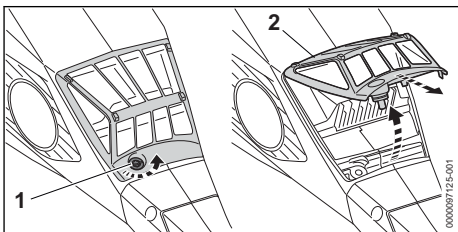
- ▶ 刈払機の電源を切り、バッテリーを取り外します。
- ▶ 刈払機を湿らせた布で拭きます。
- ▶ 通気口を塗装用のはけで掃除します。
- ▶ バッテリーコンパートメントから異物を取り除き、湿らせた布でバッテリーコンパートメントを掃除します。
- ▶ バッテリーコンパートメントの電気接点を塗装用のはけが柔らかいブラシで掃除します。

### 16.2 デフレクターとカッティングアタッチメントの清掃

- ▶ 刈払機のスイッチをオフにして、バッテリーを外します。
- ▶ デフレクターとカッティングアタッチメントは、湿らせた布または柔らかいブラシで清掃します。

### 16.3 エアフィルターの清掃

- ▶ 刈払機の電源を切り、バッテリーを取り外します。



- ▶ エアフィルター (2) 周辺部を湿らせた布または柔らかいブラシで掃除します。
- ▶ エアフィルター (2) が取り外し可能な状態になるまでスクリュー (1) を反時計回りにまわします。
- ▶ エアフィルター (2) を上方向にまわし、引き外します。
- ▶ エアフィルター (2) を流水ですすぎ、外側から粗いごみを取り除きます。
- ▶ エアフィルター (2) が損傷している場合：新品のエアフィルター (2) を取り付けてください。
- ▶ エアフィルター (2) を自然乾燥させます。
- ▶ エアフィルター (2) をハウジングに取り付け、押し下げます。  
エアフィルター (2) は、全面でハウジングと面一になります。
- ▶ スクリュー (1) を差し込み、しっかりと締め付けます。

## 16.4 バッテリーの清掃

- ▶ バッテリーを、湿らせた布で拭きます。

## 17 整備

### 17.1 整備間隔

整備間隔は、周囲条件と作業条件によって変化します。STIHL 社では次の間隔による整備をお勧めしています：

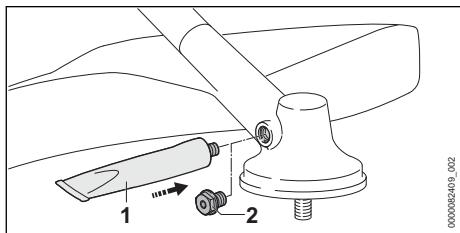
#### 50 運転時間毎

- ▶ ギアボックスに注油します。
- ▶ エアフィルターを掃除します。

#### 毎年

- ▶ STIHL サービス店に刈払機の点検をご依頼ください。

### 17.2 ギアボックスの潤滑



- ▶ スクリュープラグ (2) を取り外します。
- ▶ スクリュープラグ (2) の端にグリースが見えない場合：
  - ▶ STIHL ギアグリースのチューブ (1) をねじ込みます。
  - ▶ 5g の STIHL ギアグリースをギアハウジングに注入します。
  - ▶ STIHL ギアグリースのチューブ (1) を注入口から外します。
  - ▶ スクリュープラグ (2) を取り付け、確実に締め付けます。

## 19 トラブルシューティング

### 19.1 刈払機またはバッテリーのトラブルシューティング

不具合	バッテリーの LED	原因	処置
電源を入れても、刈払機が始動しない	1 個の LED が緑色で点滅。	バッテリーの充電状態が低過ぎる。	▶ STIHL AL 101、300、500 充電器の取扱説明書に従ってバッテリーを完全に充電します。
	1 個の LED が赤色で点灯。	バッテリーの温度が高過ぎるか、低過ぎます。	▶ バッテリーを取り外します。 ▶ バッテリーを冷やすか、暖めます。
	3 個の LED が赤色で点滅。	刈払機が故障している。	▶ バッテリーを取り外します。 ▶ バッテリーコンパートメントの電気接点を掃除します。 ▶ バッテリーを挿入します。 ▶ 刈払機の電源を入れます。

- ▶ 負荷をかけずに刈払機を 1 分間作動させます。

STIHL ギアグリースが均等に行き渡ります。

### 17.3 金属製カッティングアタッチメントの目立てとバランスの取り方

金属製カッティングアタッチメントを適切に目立てし、バランスを取るには、練習を重ねる必要があります。

STIHL 社では、金属製カッティングアタッチメントの目立てとバランス取りを STIHL サービス店に依頼されることをお勧めしています。

- ▶ 金属製カッティングアタッチメントは、同梱されている取扱説明書とパッケージに記載されている指示に従って目立てしてください。

## 18 修理

### 18.1 刈払機とカッティングアタッチメントの修理

ユーザーが刈払機とカッティングアタッチメントを修理することはできません。

- ▶ 刈払機またはカッティングアタッチメントが損傷した場合は：刈払機またはカッティングアタッチメントを使用しないでください。STIHL サービス店に連絡してください。

### 18.2 バッテリーの整備および修理

バッテリーは、整備が必要ではなく、修理できません。

- ▶ お使いのバッテリーが故障した場合、または破損した場合は：バッテリーを交換してください。

不具合	バッテリーのLED	原因	処置
			▶ 3個のLEDが引き続き赤色で点滅した場合：刈払機を使用しないでください。STIHL サービス店にお問い合わせください。
	3個のLEDが赤色で点灯。	刈払機が過熱している。	▶ バッテリーを取り外します。 ▶ 刈払機が冷めるまで待ちます。
	4個のLEDが赤色で点滅。	バッテリーが故障しています。	▶ バッテリーを取り出し、再び挿入します。 ▶ 刈払機の電源を入れます。 ▶ 4個のLEDが引き続き赤色で点滅：バッテリーを使用しないでください。STIHL サービス店にお問い合わせください。
		刈払機とバッテリー間に電気的な接触がない。	▶ バッテリーを取り外します。 ▶ バッテリーコンパートメントの電気接点を掃除します。 ▶ バッテリーを挿入します。
		刈払機またはバッテリーが濡れている。	▶ 刈払機またはバッテリーを乾かします。
		ロック解除ボタンを押す前にトリガーを握った。	▶ 本取扱説明書に従って刈払機をオンにしてください。
刈払機が作業中に急停止する。	3個のLEDが赤色で点灯。	刈払機が過熱している。	▶ バッテリーを取り外します。 ▶ 刈払機が冷めるまで待ちます。
		電気的な不具合が生じている。	▶ バッテリーを取り出し、再び挿入します。 ▶ 刈払機の電源を入れます。
刈払機の作動時間が短すぎる。		バッテリーが完全に充電されていない。	▶ STIHL AL 101、300、500 充電器の取扱説明書に従ってバッテリーを完全に充電します。
		バッテリーが寿命に達している。	▶ バッテリーを交換してください。
出力レベルを設定できない。		トリガーを握り、刈払機をオンにした。	▶ トリガーを放し、トリガーロックアウトのみを押します。 ▶ 本取扱説明書に従って出力レベルを選択します。

## 20 技術仕様

### 20.1 STIHL FSA 135 刈払機

許容されるバッテリー：

- STIHL AP
- STIHL AR
- 重量(バッテリー、カッティングアタッチメント、ガードを除く)：4.9 kg
- 全長(カッティングアタッチメントを除く)：1840 mm

バッテリー寿命については、www.stihl.com/battery-life をご覧ください。

### 20.2 STIHL AP バッテリー

- バッテリー技術：リチウムイオン
- 電圧：36 V
- 容量(Ah)：定格ラベルを参照
- エネルギー含有量(Wh)：定格ラベルを参照
- 重量(kg)：定格ラベルを参照
- 運転/保管時の許容温度範囲：-10°C から+50°C まで

### 20.3 音圧・音響・振動レベル

騒音の音圧レベルの K 値は、2 dB(A) です。騒音の音響出力レベルの K 値は、2 dB(A) です。振動レベルの K 値は、2 m/s<sup>2</sup> です。

STIHL 社では、イヤーマフの着用をお勧めしています。

#### PolyCut(ポリカット) 28-2 以外の草刈ヘッド使用時

- EN 50636-2-91 に準拠して測定した音圧レベル L<sub>pA</sub>：80 dB(A)
- EN 50636-2-91 に準拠して測定した音響出力レベル L<sub>wA</sub>：92 dB(A)
- EN 50636-2-91 に準拠して測定した振動加速度 a<sub>hv</sub>
  - コントロールハンドル：2.0 m/s<sup>2</sup>
  - 左ハンドル：2.9 m/s<sup>2</sup>

**PolyCut(ポリカット) 28-2 草刈ヘッド使用時**

- EN 50636-2-91 に準拠して測定した音圧レベル  $L_{pA}$ : 84 dB(A)
- EN 50636-2-91 に準拠して測定した音響出力レベル  $L_{WA}$ : 97 dB(A)
- EN 50636-2-91 に準拠して測定した振動加速度  $a_{hv}$ 
  - コントロールハンドル: 2.0 m/s<sup>2</sup>
  - 左ハンドル: 2.9 m/s<sup>2</sup>

**金属製カuttingアタッチメント使用時**

- EN 50636-2-91 に準拠して測定した音圧レベル  $L_{pA}$ : 81 dB(A)
- EN 50636-2-91 に準拠して測定した音響出力レベル  $L_{WA}$ : 94 dB(A)
- EN 50636-2-91 に準拠して測定した振動加速度  $a_{hv}$ 
  - コントロールハンドル: 1.8 m/s<sup>2</sup>
  - 左ハンドル: 2.1 m/s<sup>2</sup>

上記の振動値は標準化された試験方法に従って測定されており、電動パワーツールを比較するた

めの基準として使用することができます。用途の種類によっては、実際に発生する振動レベルは上記の値とは異なる場合があります。上記の振動レベルは、振動応力を当初に推測するために使用することができます。実際に受ける振動応力は、推定する必要があります。推定時には、電動パワーツールのスイッチがオフの時間や、スイッチがオンでも無負荷で運転されている時間も考慮に入れることがあります。

雇用主向けの振動に関する指令 2002/44/EC の順守については、[www.stihl.com/vib](http://www.stihl.com/vib) をご覧ください。

**20.4 REACH**

REACH は EC の規定で、化学物質 (Chemical substances) の登録 (Registration)、評価 (Evaluation)、認可 (Authorisation) 規制を意味します。

REACH 規定の遵守に関する詳細については、[www.stihl.com/reach](http://www.stihl.com/reach) をご覧ください。

**21 カuttingアタッチメント、デフレクター、キャリングシステムの組み合わせ**

**21.1 カuttingアタッチメント、デフレクター、キャリングシステムの組み合わせ**

カuttingアタッチメント	デフレクター	キャリングシステム
<ul style="list-style-type: none"> <li>- PolyCut(ポリカット) 28-2 草刈ヘッドと 2.4 mm 径「丸形静音」ナイロンライン:</li> <li>- AutoCut(オートカット) 25-2 草刈ヘッド</li> <li>- AutoCut(オートカット) C 26-2 草刈ヘッド</li> <li>- AutoCut(オートカット) 27-2 草刈ヘッド</li> <li>- DuroCut(デュロカット) 20-2 草刈ヘッド</li> <li>- SuperCut(スーパーカット) 20-2 草刈ヘッド</li> <li>- FixCut(フィックスカット) 31-2 草刈ヘッド</li> <li>草刈ヘッドと 2.7 mm 径「丸形静音」ナイロンライン:</li> <li>- AutoCut(オートカット) 36-2 草刈ヘッド</li> <li>- 草刈ヘッド TrimCut(トリムカット) C 32-2</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 草刈ヘッド用ガード</li> <li>- スカートとライン制限ブレード付きユニバーサルデフレクター</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 肩掛けベルト</li> <li>- クイックリリースシステム付きフルハーンエス</li> <li>- サポートクッション付き STIHL AR バッテリー</li> <li>- バッテリーベルト (「接続ケーブル付き AP ベルトバッグ」と肩掛けベルト付属)</li> <li>- バッテリーベルト (ストラップ、「接続ケーブル付き AP ベルトバッグ」、サポートクッション付属)</li> <li>- キャリングシステム (「接続ケーブル付き AP ベルトバッグ」とサポートクッション付属)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>- 草刈ブレード 230-2 (230 mm 径)</li> <li>- 草刈ブレード 230-4 (230 mm 径)</li> <li>- 草刈ブレード 230-8 (230 mm 径)</li> <li>- 草刈ブレード 250-32 (250 mm 径)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- スカートなしユニバーサルデフレクター</li> </ul>	

カッティングアタッチメント	デフレクター	キャリングシステム
- 草刈ブレード 260-2 (260 mm 径)		
- ブラシナイフ 250-3(Ø 250 mm)		
- サーキュラソーブレード 200-22(Ø 200 mm) - サーキュラソーブレード 200-22 HP(Ø 200 mm)	- リミットストップ	- クイックリリースシステム付きフルハーネス - サポートクッション付き STIHL AR バッテリー - バッテリーベルト (ストラップ、「接続ケーブル付き AP ベルトバッグ」、サポートクッション付属) - キャリングシステム (「接続ケーブル付き AP ベルトバッグ」とサポートクッション付属)

### キャリングシステムの名称

肩掛けベルト



フルハーネス



サポートクッション付き STIHL AR バッテリー



バッテリーベルト (「接続ケーブル付き AP ベルトバッグ」と肩掛けベルト付属)



バッテリーベルト (ストラップ、「接続ケーブル付き AP ベルトバッグ」、サポートクッション付属)



キャリングシステム (「接続ケーブル付き AP ベルトバッグ」とサポートクッション付属)



## 22 スペアパーツおよびアクセサリー

### 22.1 スペアパーツおよびアクセサリー

**STIHL** これらの記号は、STIHL 純正のスペアパーツと STIHL 純正のアクセサリーに付けられています。

STIHL 社では、STIHL 純正の交換部品とアクセサリーの使用をお勧めしています。

STIHL 社は市場に出回っている商品を継続的に調査しておりますが、他社製スペアパーツとアクセサリーの信頼性、安全性、適性を判断することはできません。そのため、STIHL 社はそうした部品の使用を許可しておりません。

STIHL 純正の交換部品と STIHL 純正のアクセサリーは、STIHL サービス店から入手することができます。

## 23 廃棄

### 23.1 刈払機とバッテリーの廃棄

廃棄に関する情報については、最寄りの行政機関または STIHL サービス店へお問い合わせください。

不適切な廃棄は、健康被害や環境汚染の原因になるおそれがあります。

- ▶ 現地の規制に従い、パッケージを含む STIHL 製品を適切な回収場所へ持ち込み、リサイクルしてください。
- ▶ 家庭ごみと共に廃棄しないでください。

## 24 EC 適合証明書

### 24.1 STIHL FSA 135 刈払機

ANDREAS STIHL AG & Co. KG  
Badstraße 115  
D-71336 Waiblingen

Germany (ドイツ)

は、独占的な責任下で下記の製品が

- 製品名：バッテリー刈払機
- メーカー：STIHL
- 型式：FSA 135
- 機械番号：FA01

指令 2011/65/EU、2006/42/EC、2014/30/EU および 2000/14/EC の関連条項に適合しており、製造の時点で有効であった次の規格のバージョンに準拠して開発され、製造されたことを保証いたします：EN 55014-1、EN 55014-2、EN 62233、EN 60335-1 および EN ISO 12100 (EN 50636-2-91 と ISO 11806-1 を考慮)。

音響出力レベルの測定値と保証値は、指令 2000/14/EC、付録 VI に準拠しています。

公認機関：VDE Prüf- u. Zertifizierungsinstitut, Merianstraße 28, 63069 Offenbach, Germany  
- 音響出力レベル測定値：92 dB(A)  
- 音響出力レベル保証値：94 dB(A)

技術資料の保管場所：ANDREAS STIHL AG & Co. KG Produktzulassung

製造年、製造国、機械番号は、刈払機の銘板に表示されています。

2021年7月15日、Waiblingenにて発行  
ANDREAS STIHL AG & Co. KG

代理人 

Dr. Jürgen Hoffmann, Director Product Certification & Regulatory Affairs(製品認証 & 規制担当ディレクター)

## 25 UKCA 適合宣言

### 25.1 STIHL FSA 135 刈払機

**UK  
CA**

ANDREAS STIHL AG & Co. KG  
Badstraße 115  
D-71336 Waiblingen

Germany (ドイツ)

は、独占的な責任下で下記の製品が

- 製品名：バッテリー刈払機
- メーカー：STIHL
- 型式：FSA 135
- 機械番号：FA01

英国の規制である指令 The Restriction of the Use of Certain Hazardous Substances in Electrical and Electronic Equipment Regulations 2012, Supply of Machinery (Safety) Regulations 2008, Electromagnetic Compatibility Regulations 2016 と Noise Emission in the Environment by Equipment for use Outdoors Regulations 2001 の関連する条項に適合しており、製造の時点で有効であった次の規格のバージョンに準拠して開発され、製造されたことを保証いたします：EN 55014-1、EN 55014-2、EN 62233、EN 60335-1 および EN ISO 12100 (EN 50636-2-91 と ISO 11806-1 を考慮)。

音響出力レベルは、測定値と確保数値共に英国の規制 Noise Emission in the Environment by Equipment for use Outdoors Regulations 2001, Schedule 9 に基づいています。

公認機関：INTERTEK Testing & Certification Ltd, Academy Place, 1-9 Brook Street, Brentwood, Essex, CM14 5NQ, United Kingdom  
- 音響出力レベル測定値：92 dB(A)  
- 音響出力レベル保証値：94 dB(A)

技術資料の保管場所：ANDREAS STIHL AG & Co. KG Produktzulassung

製造年、製造国、機械番号は、刈払機の銘板に表示されています。

2021年7月15日、Waiblingenにて発行  
ANDREAS STIHL AG & Co. KG

代理人 

Dr. Jürgen Hoffmann, Director Product Certification & Regulatory Affairs(製品認証&規制担当ディレクター)

[www.stihl.com](http://www.stihl.com)



0458-602-4321-B



0458-602-4321-B